



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧師 : 杉村 幸 (日本語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimurai950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

◎石叫 ■ 「絶対緩まないナット」

十一月17日の『羅府新報』の「関西経営者列伝」にあったもので、鳥居眺めて授かった知恵によって生まれた表題のアイデアが、実に興味深かった。

「日本のものづくり力低下が言われて久しい中、オンラインワン製品の「絶対に緩まないナット」をひっさげて世界を相手に勝負しているハードロック工業の創業者、若林克彦社長(82)。幼少期から発明に没頭し、出色の創造力と実行力を武器に時々の逆風にも立ち向かってきた。「全ての企業は、社会に対して大きな使命を持つ」。力強い歩みは、ものづくり日本再興への道しるべでもある。

東京スカイツリーには、ネジの分野で、国内外から複数の応募があったんですけど、採用には「百年保証」という大きな条件があった。百年緩み止め機能が持続しないとあかんわけやね。内外から様々なメーカーが来たわけですけど、条件を満たさないところが一つずつ省かれた。おかげさまでハードロックナットは、百年以上もつ自信がある。新幹線はもう30年近く採用してくれています。ハードロックナットは「重要保安部品」として車両全般に使われています。ハードロック以外は使えないと、信頼を得ることができました。16両1編成で2万個使ってるんですが、新幹線がありがたいのは、百万キロ走ったら、性能に全く問題なくてもボルトと一緒に全部新品に交換して下さる。ボルトは金属疲労があるし替えないと危ないけど、ナットはホンマは替えんでもいいんです。

「ハードロックナットは、凹凸2個1組のナットでアイデアの源泉は、日本古来の木のくさびの原理。苦境の中、ふとしたことが発明のきっかけになった」昭和48年の暮れ、休みの日に自宅近くの大阪・住吉大社を散歩していて、鳥居の柱と、横につなぐ貫(ぬき)の継ぎ目に打ち込まれた木のくさびに目が行ってね。昔の木造建築は、くさびなんて一本も使わなくても緩まず持続してるじゃないですか。「そうや、これを応用して、ボルトとナットの隙間にくさびを打ち込めば緩まんわ」と思いついたんです。ひらめきですね。「そんなだけ考えてるんやったら」と、神様から知恵を授かったんや、と思います(編集)。

古代人の知恵には叶わない。だが、神の知恵には、とうてい歯がたたない。それが聖書であり、そこには「イエスに対する信仰によって救いに至る知恵を、あなたに与えうる書物」(2テモテ三・15)とある。主を信じることによって、誰も成しえなかった救いが、人類に与えられるというのだ。それこそが神の知恵である。これは永遠に緩むことなく、今のあなたを再興する道しるべである。

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウエスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

